

平成28年度第1回スポーツ推進計画策定委員会

平成28年10月20日(木)

午後6時30分開会

開催日時	平成28年10月20日	開会 6時30分 閉会 8時15分	
場 所	第二庁舎601会議室		
出席委員	委 員 長 植田 征司 副 委 員 長 田中 幸夫 委 員 安東 和義 委 員 秋澤 恵子 委 員 田澤 英徳	委 員 石井 晴美 委 員 雨宮 安雄 委 員 千本木勘博 委 員 宮崎 英子	
挨拶のため出席した者の職氏名	教 育 長 山本 修司 生涯学習部長 西田 剛		
事務局	生涯学習課長 石原 弘一 スポーツ振興係長 松本 浩明		
傍聴者人数	<u>0</u> 名		

日程	次 第
	<ol style="list-style-type: none"> 1 山本修司教育長、西田生涯学習部長 挨拶 2 策定委員自己紹介 3 委員長・副委員長の選出（事務局） 4 会議録の作成方法 前文筆記、要点筆記の別 5 資料・スケジュール説明（事務局） 6 要点審議

石原生涯学習課長 議事を進めるに当たり、まず、委員長の選出についてでございます。立候補があれば立候補を優先するという会議の例が多いようでございますが、ぜひ私が委員長をやるという方がいらっしゃいますれば、お手を挙げていただければと思いますが。

手が挙がらない場合は指名推薦、どなたかを推薦していただくという形の選出方法となりますが、どういう方を委員長として運営していきたいというようなご意見がありましたら、発言をお願いいたします。

植田委員 私、委員長に立候補します。

(拍手)

石原生涯学習課長 じゃ、今、立候補がお一方ございましたので、こちらが委員長席ということで、席をお移りいただければと思います。

申しわけございませんが、副委員長の選出については委員長のものと進めていただけるように、よろしく願いいたします。

植田委員長 では、私、立候補させていただいたということで、どうぞ皆さん、よろしく願いいたします。

では早速、副委員長を選んでいきたいと思いますが、皆様、推薦でよろしいでしょうか。誰か、この方を推薦されるというのがありましたら。推薦とかというのはなかなか厳しいものがあります。私が委員長をやったので、ぜひ助けていただけると言っていたける方はいらっしゃらないでしょうか。

ちなみに、副委員長というのはどういったことを。

石原生涯学習課長 委員長がやむを得ず会議に出られないときには、委員長の代行をしていただくということが一番主な任務となるかと思えます。

千本木委員 推薦、いいですか。先ほど自己紹介の中でも冒頭、田中先生のほうから、お仕事の関係でかなり精通している部分があるのかなとい

うことで、私、個人的には田中先生を推薦したいなと思っています。

植田委員長 皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

植田委員長 異議なしということで、田中先生、よろしゅうございましょうか。

田中副委員長 わかりました。

石原生涯学習課長 じゃ、副委員長席に、恐れ入りますが。

田中副委員長 ご指名いただきましたので、副委員長を務めさせていただきます。
よろしく願いいたします。

植田委員長 では、委員長、副委員長が決まりましたので、改めまして皆様、
どうぞよろしく願いいたします。

次は、順番が前後しますが、4番の資料・スケジュール説明、事務局のほうでお願いいたします。

松本スポーツ振興係長 それでは、スケジュールの説明の資料がA4の紙で1枚…。

石原生涯学習課長 資料、まず何があるか読み上げたほうがいいかもしれない。

植田委員長 よかったら、先ほど私と宮崎さん、ご一緒に資料配布していただいたので、一番最初、上にありましたのが次第ですね。次第の次が「Power of Sport」、黒っぽく光っている冊子になります。次が「スポーツ基本計画（概要）」、両面で2枚つづりです。続きまして、大きい字で「基本理念のキーワード」。ここまで大丈夫でしょうか。

(「はい」の声あり)

植田委員長 続きまして、「スポーツに関する意識調査（スポーツ実施率等調査）調査結果報告書」、冊子になっております。続きまして「計画の柱立て（キーワード）」となっている3枚つづりのものがござい

ます。続きましてA4で1枚の、③現状や課題となっているものが先頭に来ているもの。続きまして「小金井しあわせプラン」。次が「小金井市スポーツ推進計画策定概要」、1枚のものでございます。この次に、スポーツ推進計画策定委員一覧というのが来ます。最後でございますが、「スポーツ推進計画のたたき台」ということで、総合体育館の写真が表表紙に出ているものでございます。

以上、皆様お手元でございますでしょうか。あと、先ほどちょっと事務局よりお話がありました、色が薄いとかというものは、あとで申し出ていただいて、今、差しかえる余分がないので、後日、後ほど差しかえさせていただきます。

松本スポーツ振興係長 それでは、今お配りしました策定スケジュール（案）ですけれども、10月から3月までに、6カ月間で作り上げるということになります。実質、真ん中の「審議内容」のところを見ていただきますと、「第1弾（パブコメ前）」、それから「パブコメ含める」というふうに矢印がついているものがあります。要は、第1弾である程度のもをつくったうえで、一番下にありますパブリックコメント、略してパブコメとそこに書いてありますけれども、パブリックコメントを得るために約1カ月間、市民の方に意見を求めます。その回答をもちまして、2月にはパブリックコメントを含めた形で作りたいと思っております。なので、ちょっと急ですけれども、この10月、11月、12月と、今年中に何とか形のあるものになりたいと思っております。そのような形でつくる計画でおります。

そんなに急につくるのは難しいということがありますので、私のほうでこの資料、ホチキス留めしてあります「スポーツ推進計画のたたき台」というのがあります。これは、近隣市の事例などをかなり見て、まず、最初に項目立てをいたしまして、大体共通する項目から作りまして、その後、いろいろ各市の文章、それから小金井市独自の政策を含めまして、まとめたものでございます。このたたき台をもとに、先ほど申しましたとおり、まずは第1弾ということで12月15日が3回目の会議になりますけれども、そこまで何とか仕上げたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

資料でございますけれども、まず1つ、計画の基礎資料となります、この金属のものでとめてあります調査結果報告書、これはスポ

ーツ実施率調査といいまして、平成27年度、昨年度、平成28年3月にできたものですが、これは本来、カラー刷りなのですが、市役所にカラー印刷できるものがございませんので、申しわけございませんが白黒となっております。これがまず1つ、ベースになってございます。

それから、「スポーツ基本計画（概要）」というのがあるかと思えます。これは文科省のほうでつくった基本計画になります。文科省は、皆さんもご存じのとおり、スポーツ庁ができましたので、一応これは生きているのですが、スポーツ庁のほうで今、盛んに手を加えながら修正をかけている最中でございます。

国の機関の下にあります東京都、「Power of Sport～エンジョイ、チャレンジ、イノベーション」、この概要版ですが、これが東京都のスポーツ推進計画となります。

今度は小金井市に目を向けますと、「小金井しあわせプラン」というのがあります。これは全部、コピーできないので、スポーツに特化したところをコピーしてあります。第4次小金井市基本構想・後期基本計画というものです。まず前提として、市はこれが大もとの基本計画となっております。

それから、私ども生涯学習部のほうでつくりましたブルーの冊子、これが第3次小金井市生涯学習推進計画となっております。しあわせプランの下に、この私どもの生涯学習部の計画が載っております。

それから、1枚あります、これは施設のことなのですが…。

植田委員長 裏面に地図が出ているやつですね。

松本スポーツ振興係長 これは今年度、市長部局のほうでつくる公共施設等総合管理計画で作成途中の資料でございますけれども、体育施設、スポーツ施設だけでなく、市の施設の基本的な方針を書いているものでございます。今お手元にあるのは、スポーツ施設に特化したものでございます。

以上が資料です。

石原生涯学習課長 理念のキーワードとか、柱立てとか、策定概要というのは。

松本スポーツ振興係長 策定概要につきましては、この推進計画がどういう規模で

どういうふうに、どういうタイミングでつくっていくかということも含めてありますけれども、平成27年度に実施したスポーツ実施率調査、先ほどカラーでは印刷できなかったスポーツ実施率調査を基礎資料として、市民が日常的にスポーツや運動に取り組む機会を創出し、長期的に健康寿命を増進させていくための計画を策定すると。これが策定の目的だということですね。

それから、今年度中に策定をします。日程についてはそこに書いてあるとおりでございます。5番にあります策定委員の数ですけれども、10人、今日現在、1名欠員となっておりますが、先ほどの課長からの説明のとおり、補充を今、かけているところでございます。

それから、謝礼につきましてはごらんのとおりとなっておりますが、本日、口座振込依頼書につきましては、お持ちになっていらっしゃる方につきましては後ほどいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、左上でホチキス留めしております「計画の柱立て」というのがキーワードということであります。「はじめに」ということがあったり、第1章、第2章、3章、4章、5章というふうに、スポーツ推進計画のたたき台のつかかりとして計画の柱立てをさせていただきました。実際にたたき台をつくる際には、開いていただくとわかるのですが、たたき台の目次と今回の柱立てが多少異なっております。実際、作り始めてたたき台のほうがかなり、もう少し詳しくなっております。

それから、「計画の柱立て」の次のページ以降は、近隣のスポーツ推進計画、振興計画を持っている市の柱、目次を書き並べてみました。武蔵野市、三鷹市、狛江市、府中市ということで書いてございます。私のほうで各市の、この4市以外にもいろいろ見たんですけども、これはと思うところ、もしくは各市、大体こういう項目立てでつくられているというところで、私のほうでたたき台の目次にありますところで書かせていただきました。

気になるこの大きい文字、「基本理念のキーワード」というのがあります。本日ちょっと考えていただきたい項目としまして、素案の中の4ページをお開きいただきたいと思いますが、第3章、計画の基本的な考え方ということで、(1)基本理念、「スポーツを通じた……」とございます。そこを今日、考えていただきたいためにキ

キーワードをいろいろ、他市にもやはり基本理念ということで、キャッチフレーズがつくられております。いろいろその中から、ほかの資料からもキーワードを出して基本理念を今日、つくっていただいたために列挙してみました。それがこの、大きい文字で書いてある「基本理念のキーワード」ということになっております。

以上でございます。ご質問は多々あろうかと思えます。ご質問いただければと思えます。よろしく願いいたします。

植田委員長 ありがとうございます。かなり資料があって、皆様も目を全て通してからだと思いますが、何かここまでで、ざっと気になることがありましたら挙手のほうをお願いいたします。

今日はなかなか出ないかと思えますので、これは、質問等はまた次回でも構わないでしょうか。

では、いかがでしょう。これはちょっと持ち帰ってよく目を通していただいてから質疑ということでもよろしいでしょうか。

雨宮委員 ちょっといいですか。ちょっと分からないですけど、小金井市でつくったこれをもとにするということでもいいですか。

石原生涯学習課長 これは担当のほうで見本じゃないですけど、たたき台として各市の共通項みたいなものを集めてつくったものでございますので、ここに小金井市の独自性とか、それと、あまり決定稿にならないように、例えば国や東京都もスポーツ実施率を何%にするというのを目標に出していますけど、ここにはそういった記載はないので、何をするとところが到達点かとか、そういう基本になる部分は皆さんのご意見をいただきながらつくっていきたいと思っております。

植田委員長 よろしいですか。

田中副委員長 田中ですが、策定スケジュールについて、第1弾（パブコメ前）ということですが、これを見ますと3回である程度まとまったものを出して、それに市民の方からご意見をいただいて、また後半でつくるというスケジュールですよね。3回で1回、格好をつけて。

千本木委員 それに関連してですけど、市民の意見というのはものすごく具体

的に、議会におろして、厚文におろして、市民の代表の議会の意見を求めるのか、市民の意見というのはどういう。

松本スポーツ振興係長 それは各施設にパブリックコメントということで、書面を置くのですね。で、意見のある方は書いていただいておりますというやり方です。

千本木委員 そういう形。

雨宮委員 雨宮ですけど、どこかを借りて皆さんの意見を聞くということじゃないのですね。

松本スポーツ振興係長 ということではないです。

千本木委員 当然、市報等で、我々がつくった経過途中の報告を各施設に置いてありますと。市民の方はぜひごらんくださいという形で呼びかけて、そこにメモ用紙や意見書なりを置いておいて、ポストじゃないけど、投函するというような形になるのですか。

松本スポーツ振興係長 はい、そうです。

植田委員長 パブリックコメントは、よく来ていただく総合体育館にも必ず、頻繁にパブリックコメントが来て置いてあって、用紙を持って帰って記入するというのは一応あるわけです。多分、皆さんの意見をまとめますと、厳しいよなど。これは私がちょっと今、感じたことなのですが、今ここにいる私たちがほんとうに最初の人間、要はこれを立ち上げる人間という形になると思います。またこれが1年後に見直しなのか、3年後に見直しなのか、もしかしたらもっと先の見直しになるかもしれませんが、私たちはとりあえずたたき台をつくって、後に残していけるようなという捉え方でいいのではないかなど。また、そのために素案を用意していただいているので、この素案を大幅に一から見直して、変えていくとなると多分、私たち自身もそこまでほんとうに、田中先生は別でしょうけれども、どこまで知識があるのかということもやはり当然、不安にもなるでしょうし、なので今回はこの素案に沿って我々がたたき台をつくるとい

う形で半年後、1年後、見直しをどこでかけるかというところにまた、これができるときに考えていくというところで考えたほうが、スケジュール的にも3カ月、3カ月といっても多分、今日はこの話を実際にすることは多分、ないでしょうから、実質2回。2回でつくるということになるでしょうから、そうなってくるとこれをベースにたたき台をつくると。

石原生涯学習課長 ちょっと出し方が皆さん、面食らっちゃう出し方なのかなと思っていて、このたたき台の中で見ていただきたい、別に国の動きとか東京都の動き、小金井市の動きとかを皆さんにつくってもらう必要はないので、4ページの理念、それから基本目標、成果目標、とりあえずこのあたりを中心に、皆さんこういう項目立てでいいのか、こういう分野立てでいいのかということとか、そこら辺を中心に、そこが固まったらその後、現状と課題は現状分析なのであまり皆さん方にお知恵を拝借する必要はないと思うので、その後の7ページの第5章で、基本目標を達成するための具体的な施策というところに飛んでいただいて、定まった目標をもとに何をしていくべきかというところ、そのぐらいだけを皆さんから、こういう方向性がよろしいのではないかとか、こういう視点がちょっと入っていないのではないかとというようなご意見をいただければ、うちのほうでつくっていけるのかなと思います。

それで、たたき台として、これもたたき台ですけど、せっかく昨年、スポーツ意識調査という調査結果で、いろんな施設に関することとか、スポーツ施設を使う人の負担の問題であるとか、スポーツ習慣であるとか、年代層でどうなっているかというような分析をした調査報告書がございますので、ちょっとこれを、次回までにお目通しいただいた上で、今、足りていない現状の目標をもっと高めていくためにはどういう項目立てが要るのかというようなご提言を次回、いただければ、あとは細部、肉付けというか枝葉の部分をつくっていったって完成ということになろうかと思います。

それから計画ですけど、5年間、32年までといっても、今年度はもう使ってしまうので、4年間使う計画ということで、4年間使ったらその後はここでいただいたたたき台をもとに、そのときには東京オリンピック・パラリンピックも終わった後でございますので、その後、どうこの地域にスポーツや健康について定着させていけば

いいのかということ、次の4年後ぐらいの委員会の方に委ねるところまで、皆さん、一番最初に切り開く、開拓者になっていただくところで、非常に短い期間で大変ですけれども、それだけに一番初めにこれをやっていこうという、初めとすればここが大事なんじゃないかというところを、そんなに構えずに考えて出していただければ、あとは次の人たちが、徐々により充実したものにしていってもらえると思いますので、そういうお気持ちで取り組んでいただけるといいかなと思います。

植田委員長 骨組みをつくって、なおかつ私たちは最初のパイオニアになるというところで、そんなにがっしり構えなくてもできるというところですね。皆様のお手元には委嘱状が届いてしまいますので、頑張っ
てあきらめずにやりましょう。

植田委員長 逆に言うと今、ちょっとほっとさせていただく言葉もございましたので、そういったことで皆さん、ぜひよろしく願いたします。

では、時間ももったいないので、先ほどお話にありました素案の4ページの基本理念のキーワード、これを皆様で考えていきたいなと思いますが、すみません、質問です。基本理念のキーワードは今、こちらにいただいているもの以外は使わない？ もしくはこれはあくまでも参考例として1部いただいて、これ以外のものがあればそれを使用するのは構わないということ。

この、基本理念のキーワード以外のキーワードが入ってもいいということでございますので、今、ここのキーワードに入っていないもので、ぜひこの言葉を入れたいというものがありましたら頂戴できますでしょうか。

石井委員 その前に、「スポーツを通した」じゃなきゃいけないのですか。「スポーツを通して」でもいいわけですか。それとか、長さとか。

松本スポーツ振興係長 その辺は別に決めてございませんので、小金井のスポーツに関して、キャッチフレーズとして何が一番いいのかというところでお決めいただければと思います。あくまでも今、とっかかりとして「スポーツを通した」という言葉だけでイメージをつくられちゃ

うとあれかなと思ったんですが、ひとまずはどんな形でも構いませんので。

石井委員 じゃ、そうしたら、「スポーツを通した」そのものもなくなっちゃってもいいということですか。

松本スポーツ振興係長 はい。

植田委員長 そこまでいくとちょっと、ぶれてしまうと思いますので、できれば「スポーツを通し」までは決めて、「た」か「て」か、そこできたいと思います。

宮崎委員 「スポーツを通して」という感じで持っていくと、誰でもいつでもどこでもという、これはスポーツ基本法の中にある、障害者もスポーツをする権利というのがありますので、スポーツをするというのが健常者だけではなくて、障害者もみんな、実際やっている人は別ですけど、やっていない、病気をされていて自宅で介護されている人とか、入院している人たちは病院の方向性があって、病院の中で体力測定みたいなことをやっているところもあるんですね。だから、やはり自宅で何もしていないというような人も、スポーツができるような雰囲気づくりとか、そういうのを小金井市ではつくっていききたいという気持ちはすごくあります。

植田委員長 今の宮崎さんのお話を聞いて「スポーツを通した」の後に「まち」と入れても、今お話しされていたものがかかってくるかなと、正直、思いました。そういった、全部が網羅できるものということですね。

田中副委員長 田中ですが、スポーツというのは一つの概念でもあるんですけど、運動というのをどこかに入れたいなという気がする。スポーツというとかやっぱりスポーツ競技であるとか、もう決められたものですね。だから散歩であるとか、競技ではない動きとか、そういうものも取り込んだ身体運動ですよ。そういうものとスポーツというものも入れ込んだ概念でやっていただければいいんじゃないかなと思います。スポーツとボンと出てきちゃうと、スポーツ嫌いもいるだろうし、そこに、身体運動と言うと変ですけど、運動でもいいと

思うのですが、「スポーツ、運動を通した」とか、「通して」、今の世の中だと、やる側もいますけど、最近は見るとスポーツ、スポーツ観戦も含めたそういう動きもありますよね。ですから、見て楽しむとか、そういうのも含んだ概念が入ってくるといいんじゃないかなという気はします。

秋澤委員

今、田中先生がおっしゃったことなのですが、私もそういうふうに考えていまして、このスポーツ推進計画のスポーツをどういうふうに小金井市では捉えているかというか、その定義づけみたいなものがあると、何かいいのではないかなと思うのです。例えば競技スポーツだけではなくて、今おっしゃったような身体活動というのですか、野外活動なんかも含めて、そして見る、支える、やることもそうなのですが、何と言いますか、言葉はうまくいかないのですが、一つの定義づけみたいな、小金井市のスポーツ推進計画のための、スポーツということを何かまとめた形の定義づけを一旦すると、何かうまくことが運ぶような気がちょっとしました。

安東委員

その下の②で、「スポーツ・運動を通した健康づくり」というのがタイトルであるのですが、これが僕は一番上じゃないかと思っていて、これが上に来て、それに向かって何をやるか。結局は健康づくりで医療費の削減だとか、そういうことにつながっていくのが本来の計画じゃないかと思うので、②はまた何か別に考えることにして、基本理念はこの②がいいのではないかと思うのですが。「通して」というお話もありましたけれども、「て」となるとやや、内容を説明するような格好になると思いますから、スローガンというのか、キャッチフレーズというのか、それはこの②がちょうどいいのではないかと思うのですが。確かに一般の方はスポーツというと、障害者のスポーツもありますけれども、かなりハードルがありますよね、そこに入っていくには、初心者の方が気軽にやれるとなると。スポーツと運動と併記、あるいは運動をもう少しかみ砕いたというのか、私は想像が付きませんが、そういうのにしたほうがいいのかと考えています。

田澤委員

今の②のところ、先ほど言った「まち」とか、「健康とまちづくり」とか、何かそういうふうに入れても、いい理念になるのでは

ないかと思います。

安東委員

スポーツや運動をして医療費が削減できるというのは、どこかにそういう客観的なデータはあるのですか。そのところがちょっとつながらないと、運動をしても医療費が減らないのではないかというふうに来るとあれなので、その辺は計画をつくる意識として押さえておきたいなと思いますけれども。

田中副委員長

ちょっと話は違うかもしれませんが、健康、健康って、健康が一番で、じゃ病気の人だめかという。病気になった人とか、けがをして動けなくなった人とか、今、世の中、健康になったほうがいいみたいになっていますけど、全ての人がそうではなくて、いろいろなものを抱えながら生活しているわけですから、そういう人たちも含めて何か活動したり、自分の生活を豊かにするみたいな発想もここにに入れてほしいかなと思いますね。ですから、健康づくりといたら、俺はちょっと弱くてだめだなみたいになっちゃうと、そういう、何と言いますか、自分もちょっと膝が動かなくなってきて、今までは元気でやっていたのに、階段を上るのがつらいとか、そうなってくると、健康だけではなくて、健康になったほうがいいとは思うのですけれども、例えば障害のある方であるとか、リハビリの人たちであるとか、動けない人たちも含めた、そういう人にも優しいまちだよとか、支えるよとか、つながるよとか、健常な人が一緒にスポーツできる場面をつくれるような、そういうものになっていくと素敵かなと思いますね。

そういうのが基本でどこかに出てくるような言葉というのは、難しいのですが、ここにちょっと書いてある「小金井しあわせプラン」に、「きずなを結ぶ」とか、人の関係とかを言っているのだと思うのですが、そういう言葉も出てくると、小金井らしさも出てくるのではないかなと。今まではやっぱり、どっちかという元気な人がスポーツをしてもっと元気になるとか、そんなところがあるかと思うのですけれども、そういう人だけではないし、また高齢に、皆さんも私も全部なっていくわけですから、そういうふうな、弱いというか、健常者だけの、皆さんそういう考えは当然お持ちだと思います。そういうのが出てくるような言葉を何かできないかなという気がします。

田澤委員

これは、スポーツ推進計画を私たちはつくるのですよね、スポーツ推進計画という題名のもとにここに集まっているから、もちろん健常者も障害者の方もわかるのですが、仕事柄も携わっているのわかるんですけど、スポーツ推進計画と言っているから、そこにこだわらないのもありだろうし、先生が今言われたように、かという今度、何を言葉として持ってくれば正しいのかというのが、ちょっとなかなか難しいと思うので、例えばですけど、今、「スポーツを通した」というのが例としてあって、キーワードの中に例えばコミュニティとか、豊かとかいろんなものがあると、例えば「スポーツを通した豊かなコミュニティ」という、ここにある2つのものをくっつけてこの後につけたとしても、「豊かなコミュニティ」といったら例えば健常者であろうが障害者であろうが豊かなコミュニティ、コミュニケーションとか、誰でも来てくださいというウェルカムなことでもあるし、そういうふうに誰から見てもというと、100点満点な答えはなかなか難しいと思うので、もう少し絞って、スポーツとか運動とかにあまりこだわらずなんですけど、スポーツ推進計画なので、この辺を逆に利用して、せっかく基本的なデータが出ているので、この基本理念ワードを使ってうまく何かできればいいんじゃないかなと僕は思うんですけど。あまり皆さんがこだわり過ぎて、それよりはこれじゃないかとか、誰でも入ってこられるにはもうちょっと低いとか、高いとか、なかなかまとまりづらいのではないかと思いますので。

植田委員長

田澤さんのおっしゃったとおりで、まず皆様の思いがいろんなところにあるというのは、皆さんのご回答から間違いなくあると。ただ、今回はスポーツ推進計画なので、やはりスポーツが頭に来ないといけないと。その中で先ほど田澤さんがおっしゃっていただいたんですけど、「スポーツを通した」の後にそれを一緒に網羅できる言葉、もしくは単純に「スポーツを通した」の後、簡単なキーワード、例えば交流と入ってもいいですし、「どこでも」が入ったとしてもいいと思うのですが、その下の文章、基本理念の説明文のところでは皆様が思われているような。

田澤委員

気持ちをそこに、説明として載せたほうが。

植田委員長 そうすれば、スポーツの理念、概念が、先ほどおっしゃっていたような言葉だとか、どういった方々もこのスポーツという中には入っていて、そういった方もあくまでもスポーツができるという方向に持っていければいいのかなど。なので、ここの頭のところだけ変えるのではなくて、必要であればその下の文章も考えていくというところが、今の答えではないのかなど。

石井委員 もし、少し長くなっていいのであれば、スポーツ・運動ということがちょっと私、わからないのですが、田中先生がおっしゃったスポーツと運動の違いをどう説明するのかよく分からないのですが、これをそのまま入れて「スポーツ・運動を通して」、「て」というと確かに長くなりますですが、「誰でもが楽しく豊かな生涯を送る」という文章で長くなるし、もしキャッチフレーズ的にするのだったら、「スポーツ・運動を通した楽しく豊かな生涯」という、これ自体は生涯学習の一つなので、こんなふうなキャッチフレーズにするのか、さっきのような文章にするのか、その辺が。理念だからキャッチフレーズのほうがいいですかね。

植田委員長 まず、ここで一度、2つに分けませんかね。上をキャッチフレーズ的にして下を説明文にするのか、あくまでもそれを一つとして考えていくのか。いかがでしょう。

田中副委員長 やっぱり、キャッチフレーズみたいにつくって、それを説明されたほうが良いとは思いますが。小金井市のスポーツ推進計画のうたい文句というのは必要だと思います。

植田委員長 皆様、いかがでしょうか。上がキャッチフレーズで、下に、今皆様の思っている気持ちを入れ込んでいくということで進めていきたいと思えます。

それをもとに、それを前提とした「スポーツを通した」か「て」のキャッチフレーズというところでもう一度、再度ご検討いただければと思います。

田澤委員 僕はもしもそういうふうに、キャッチフレーズみたいにするので

あれば、キャッチフレーズはちょっと短めにして、それはなぜかという、私たちももしかして外に出て行って、例えばスポーツ推進とか、ほかの体協さんでも、黄金井倶楽部にいられる方でも、市の理念としてはこんな感じでやっていますよという説明をするときに、長々と説明しなきゃいけないような、スポーツ・運動を通した何とかと健康とまちづくりと生涯でとか、何とかとなると長くなってしまうので、ちょっと短めにして、説明文を入れておいたほうが僕はいいと思うので、ちょっとそういうふう、すっきり、皆さんが覚えやすいようなキャッチフレーズかなと思います。

植田委員長 インパクトのある1文字がボンとあると目を引くでしょうね。

植田委員長 じゃ、あと二、三分考えましたら、ここにもし入っていない言葉をお持ちの方は言っていて、ここに入っている言葉があれば、それを示していただくというところで、あと二、三分だけお時間をいただいて、皆さんにぐるっと、一回りで聞きたいと思います。

 こうやって考えると、結構網羅されちゃっていますね。よく出ていますね。

田澤委員 さっきの、「まち」とか「運動」もいいですね。

宮崎委員 1つ考えたのですが、「スポーツを通して希望あふれる小金井市を目指す」とか。

植田委員長 宮崎さんは、「スポーツを通して」、もう一度いいですか。

宮崎委員 「希望あふれる小金井市を目指す」が基本理念。

田中副委員長 私、考えました。私の字をとって、「スポーツを通して幸せになる小金井」と。

雨宮委員 雨宮ですけど、「心身の健康促進を図る最も有効な手段、スポーツ」。スポーツを入れなくちゃいけないのか、入れないほうがいいのか。

植田委員長 心身の…。

雨宮委員 「心身の健康促進を図る最も有効な手段、スポーツ」。スポーツ
というか、体を動かすことかな。うまく言えない。これじゃあまり
よくないな。

「誰でも参加しやすい、実行しやすい環境整備」。

植田委員長 雨宮さん、2つ目ですか。

田澤委員 僕は先ほど言った、「スポーツを通した豊かなコミュニティ」で。

石井委員 私は、生涯学習の生涯という言葉を入れたいので、「スポーツを
通して楽しく豊かな生涯を」という。そうすると、いわゆるディス
アビリティのほうの障害も入るかなという気がする。

植田委員長 千本木さん、何かございますか。

千本木委員 私は、「スポーツを通して生涯」ね、それとあと「仲間づくり」
と。私はこの「仲間づくり」というのがすごく好きな言葉なので
よ。

秋澤委員 私は、「通した」という言葉を使わないのですが、「スポーツとと
もに豊かな生涯」みたいな感じもいいかなと思います。

石井委員 「通した」というより柔らかくなりますね。

植田委員長 「ともに」、何ですか。

秋澤委員 「ともに豊かな生涯」。

石井委員 「楽しく」を入れていただいてもいい？

秋澤委員 「楽しく豊かな生涯」。

田澤委員 そうしたら、さっきのと一緒になっちゃう。

- 石井委員 「通して」はなくしたのですよね。
- 千本木委員 「スポーツとともに」っていいですね。
- 石原生涯学習課長 「ともに」はお友達の友だと、仲間みたいな意味。ひらがなで書いておいて、説明するときに「仲間」という意味を。
- 石井委員 普通に書いちゃうと、字が間違っていると。
- 植田委員長 今のお話だと、「生涯」という言葉が頻繁に出てきたかなと。
- 田澤委員 2カ所ですね。「生涯」と、「豊か」が3つぐらい出ていますね。
- 植田委員長 今もそうなのですがもう一度。これはキャッチフレーズに持ってきたほうがいいのか、それとも説明に持ってきたほうがいいのかというのを、これだけ割れてしまうと、いま一度、もう一度考えていただいて、希望あふれる小金井市を目指す。幸せになる小金井。心身の健康促進を図る最も有効な手段。楽しく豊かな生涯。豊かなコミュニティ。健康とともに豊かな生涯。
- 秋澤委員 スポーツとともに明るく豊かな生涯。
- 石井委員 明るくじゃなくて、楽しく。
- 秋澤委員 ごめんなさい、楽しく。
- 石井委員 スポーツとともに楽しく豊かな生涯を。
- 田澤委員 一緒じゃないですよ。
- 秋澤委員 今、一緒になった。思いが一緒かなと思ったので、2人で。
- 田中副委員長 今、決めなくても、これだけ出たから1回、文章化してもらって次に考えればいいのではないかな。何となく煮詰まってきたよね。

石井委員 今の括弧書きのところの後の、「市民が地域スポーツ活動を」とありますけれども、ここをもう少し説明的に変えれば、今、皆さんがおっしゃったことを入れて少し説明を加えれば。

植田委員長 例えばですけど、「市民が地域スポーツ活動を実践しやすい環境」とありますけど、ここに「豊かで明るい」だとか、「豊かで楽しい」というのが入ればそれはそれですし、私も今日、基本理念は決めてしまいたいなと正直、思いまして、やはりキャッチフレーズということなので、何か1つに絞りたいと。豊かで明るいだとか、コミュニティが楽しいだとかという形になると、どっちにかかってくるのかというところになって、あれもこれもそれもは当然なので、そういったものに関しては説明文のところに落とし込みたいなと。今、この中で選ぶというふうになると、私は先生の「幸せになる小金井」、もしくは「生涯を通じたスポーツ」だとか、ほんとに単純明快に、あくまでもキャッチフレーズとして1文字でいきたいなと思うのですが。よくあるまちづくりの、水と緑と太陽みたいな、どこにでもあるようなものをキャッチフレーズにして、全然目が行かないから。

石井委員 もっとさっきのを縮めるのだったら、やっぱりこれはスポーツなので、スポーツを入れたほうが良いと思っているので、「スポーツで豊かな生涯」とか「スポーツとともに豊かな生涯」とか、そういうほうが、幸せなとか、まちづくりとかというのが前面ではないので、この会は。スポーツを推進する策定なので、「スポーツとともに」というのはすごくいい言葉だと思うので、「楽しく」とかはとっちゃって、「スポーツとともに豊かな生涯」という感じでいったらどうですか。

石井委員 すみません、ちょっとおもしろくないかなという。ごめんなさい。おもしろくないというのは、今のはどこにでもあるかなという気がして、何かちょっと加えたいかなと。

植田委員長 みんないいのですけど、確かにおっしゃるとおり、どこにでもあるというふうに言われると。

田中副委員長　まあそうなのですが、せっかく頭をひねっているのに、何か出ないかなという気がしたのですが。

田中副委員長　奇をてらうこともないのですけれども、何かないかなみたいな感じはします。

植田委員長　いかがでしょう。幅が広がると多分、あっちもこっちも考えていってしまうので、ほんとうに一言でということと考えるとということではいかがでしょう。その下の文章でいっぱい、あれもこれもそれも入れましょう。

植田委員長　一文字で。

田中副委員長　一番若い感性で。

植田委員長　私も普通であれば多分、コミュニティという形をとればいろいろと網羅できるのかなと思ったのですが、今、先生おっしゃっていただいたとおり、それだとつまらないと。つまらないというのは、キャッチフレーズなので人の心に残らないと、それは広がりを持っていかないのかなと。せっかく私たちがつくった言葉が、どこにでもある、活用されてしまうような言葉だと、なかなか波及していかないのかなという。

田澤委員　そうしたら、「仲間づくり」とかどうですか。一文で、先ほど千本木さんが言った。

安東委員　「スポーツを通した」というのが頭に来ちゃうと、最後の文字がメインになるでしょう、例えば仲間づくりだとか、豊かな生涯。これはスポーツ基本計画なので、豊かな生涯計画ではないですよ。そうするとやっぱり、スポーツをするということに、ここはこだわらざるを得ないのかなと思うのですが、そういう解釈はおかしいですかね。かといって、何かいいのがないから。

植田委員長　さすがは小金井市というふうに言っていたきたいのですよね。

- 植田委員長 小金井市がほかの自治体に誇れるものって何でしょう。
- 千本木委員 緑と水でしょう。
- 田澤委員 確かにそうですよね、公園が多いですからね。
- 千本木委員 環境でしょう。それはどこの市町村にもあるだろうけど、大なり小なりね。必ず小金井の公職者が挨拶の中で口に出す、緑と水と。
- 田中副委員長 普通で言えばもう一つは、やっぱり人。簡単に言うと公園と学校しかないと言ったら変ですけど。
- 安東委員 公園と学校とマンション。
- 田中副委員長 そういう状況の中で先ほど教育長も挨拶していましたけど、地域・徳育・体育とかおっしゃっていましたが、そういう中で人が頑張っているということ。
- 石井委員 ほんとに短くして、例えば「みんなでスポーツ」とか、そういうふうなもののほうがいいのですかね。
- 田澤委員 「人」ってだめですか。「人づくり」みたいな。
- 石井委員 あまり短か過ぎませんか。基本理念を「人」と定めるというのもね。
- 田澤委員 「スポーツを通した人づくり」。
- 石井委員 そうするとさっき言った、当たり前になってしまう。
- 田澤委員 1つとか、単発でというのだったらそのぐらい短くするか、中に説明、人づくりとなったらいろんな人のつくり方とか。
- 安東委員 さっきの、「スポーツとともに豊かな生涯」となると、豊かな生

涯がメイン、スポーツがかけ言葉になるので、「豊かな生涯をスポーツとともに」というのはどうですか。

石井委員 いいですね。

安東委員 そうすると「スポーツとともに」というところに力点というのか、フォーカスされていていいのかなと。いや、パクリですけど。どうしてもスポーツにこだわりたいですよ、この計画からすると。ここは福祉計画策定委員じゃありませんので、スポーツなので、スポーツにスポットが当たるような格好にできたらなと思うんですけど。

石井委員 「豊かな生涯をスポーツとともに」、スポーツを推進していますね、それだと。豊かな生涯を推進するわけじゃないのですよね。

植田委員長 もう1回、言ってもらっていいですか。

秋澤委員 （「豊かな生涯をスポーツとともに」の声あり）

安東委員 ほかの市にはなさそうだからね。

石井委員 あるいは、さっきのかぶりですけど、「幸せをスポーツとともに」とか。

安東委員 そうですね、やっぱり「スポーツとともに」が、焦点を当てたほうがこの計画にはいいですね。

植田委員長 最初の括弧のところ、「小金井市スポーツ推進計画における基本理念を『豊かな生涯をスポーツとともに』と定める」。

いかがでしょうか。今までの反応では一番よかった感じで。

いま一度。「小金井市スポーツ推進計画における基本理念を『豊かな生涯をスポーツとともに』、豊かというのは豊作の豊でいいですよ、生涯は一生涯の。ともにというのはひらがなで。

田澤委員 「スポーツとともに」になると、「とと」とつながるから……。

植田委員長 ちょっと語呂が悪いか。

田澤委員 逆に「友人」の「友」にしちゃうとか。

石井委員 普通の「共」でもいいですよ。

植田委員長 皆様、いかがでしょうか。では、多数決で決めさせていただいてよろしいでしょうか。

今の安東さんの「豊かな生涯をスポーツとともに」がいいと思われる方、挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

雨宮委員 ひらがながいいのではないですか。

安東委員 そうね、ひらがながいいね。

石井委員 でも、「とと」となるということがある。

田中副委員長 「友」にしちゃう、「友達」の「友」も、言葉の遊びをちょっと。

植田委員長 皆さん、ぜひ書いて字並びがこれでいいか。

宮崎委員 「スポーツと」で半角ばかり空けて「ともに」と書けばいいのではないかな。

植田委員長 いいですね、ここにちょっと、あえてこだわりを持たせるというところで、「豊かな生涯をスポーツとともに」。

では、これは満場一致ということで、基本理念のキーワードに関しては、「豊かな生涯をスポーツとともに」で決定したいと思います。

石井委員 その下のほうで、いろんな人、高齢者も含めて誰でも、いつでも、どこでもみたいなものもちゃんと入れていただいて、仲間づくりとかも入れていただけるといいのではないですか。

安東委員 基本目標と成果目標ってあるのですが、ここはやっぱり、①のスポーツ環境の充実というのは、「いつでも、どこでも、だれでも」というふうな点から見ると、スポーツ環境の充実というのは「どこでも」という範疇に入りますよね。③のライフステージに応じたスポーツ活動の推進というのは、おのおののステージ、年代でやれるということだから、「だれでも」になるのですかね、「いつでも」になるのですかね。この「だれでも、いつでも、どこでも」は少なくともこの計画の中で網羅されておくべきじゃないかなと思うのですね。

田澤委員 ①、②、③のどこかでですね。

安東委員 はい。

石井委員 「だれでも」が最初ですよ。

安東委員 そうすると、③が一番上ですかね。いつでも、総合体育館の24時間営業。スポーツコンビニ。何か目標設定をしなくちゃなりませんから。

石原生涯学習課長 2時間一区切りの8時半ですけど、あまり遅くまでというのもあれなので。

植田委員長 キャッチフレーズができて、下を皆さん、少しずつ読み始めているようなのですけれども、下を読み始めていくと今度、また上に戻ってきてというのが出てきてしまうかなと。それを今からもう一度、キャッチフレーズの下と基本目標と成果目標、①、②、③、④はあれですので①、②、③ですね。あと30分で。

石原生涯学習課長 15分程度でいいのではないですか。あまり根を詰めても。

植田委員長 この際なので、(2)を見ないでいただいて、先ほどの説明をこの上のところに入れるのだけ、ちょっと今日、あと10分ぐらい。いかがですか。多分、下を見ちゃうとどんどんわからなくなってく

と思うので、このキャッチフレーズに合わせた、文章までにならなくていいと思うのですね、このワードは入れていきたいと思うところだけ集めて、それを盛り込んで次回までに作成していただくということで。

田澤委員 それだったら、今ここにある文章の中の、例えば元気なところを豊かとか、その辺をちょっと変えていくだけで、そのまま1回、ここは流用しておいて、①、②、③では全部網羅するのでいいのではないですか。

安東委員 基本理念の説明文のところに、「いつでも、どこでも、だれでも」という、共通したようなキーワードを入れ込んでしまったらどうですか。

植田委員長 それを一つに入れ込むということで。

安東委員 この中で、市民のスポーツ実施率を高めていくというのは基本理念のところに要りますかね。

石原生涯学習課長 目標のほうでもいいと思う。

安東委員 ええ、ちょっと基本理念の説明文には具体的過ぎるかなと思いますので。ここにある文言を入れていけば、スポーツ実施率は基本目標のどこかに入れておけば、ここではなくてもいいような気がします。

植田委員長 「市民のスポーツ実施率を高めていく」を、とりあえず下の段に落としていくと。で、「いつでも、どこでも、だれでも」を基本理念のほうに持ち上げてくると。

先ほどおっしゃっていましたが、千本木さんの仲間づくりというのもぜひ、この理念の中に入れていただければどうかなと。

安東委員 元気なまちづくり、生きがいくくり、仲間づくり。三拍子でどうですか。

植田委員長 そういったところで基本理念を再度まとめていただくということ
とでよろしいでしょうか。またここで文章まで考えていると、ほん
とくに時間がなくなってしまうので。皆さん、それでいかがでしょ
うか。

（「いいと思います」の声あり）

雨宮委員 最終的にはなんと、最後。

植田委員長 仲間づくり。

雨宮委員 だけ？

植田委員長 まず、足したものは「いつでも、どこでも、だれでも」。「市民の
スポーツ実施率を高めていく」というのを下のほうに落とします。
それに仲間づくりというものをプラスして、一度、基本理念の文章
をまとめていただくという形で。

石井委員 「いつでも、どこでも、だれでも」という言葉が、「だれでも」
が、最初がいいのかなという気がする。こっちのほうは「だれでも、
いつでも、どこでも」のほうがいいかなと。

安東委員 普通は「いつでも、どこでも、だれでも」じゃないですか。

千本木委員 普通はね、一般的な文章はね。

安東委員 小金井ふうに、「だれでも」というふうにしてもいいと思います。

石井委員 人を最初にしたほうがいいような気がします。

安東委員 我々は「だれでも、いつでも、どこでも」ということにすると。

田中副委員長 それは今日じゃなくても、最後に決めればいいのではないです
か。大体、何となく入れる言葉を決めておいて、最後に決める。

石井委員 　　これがあっちこっちにあるので気になるのです。

植田委員長 　　多分、皆さんどんどん下に目を向けていってしまうので、收拾がつかなくなりますので。

では、一応、目標である基本理念のほうが決めたので、事務局のほうにお返しいたします。

松本スポーツ振興係長 委員長、事務局から 　　いたします。

それでは、先ほど申しあげました謝礼のお支払いの振込先ということで、口座振込依頼書というのをお持ちになっておりますでしょうか。

安東委員 　　松本さん、僕は青少年問題協議会の委員になってるので、そちらに振込用紙は出してあるんですけど、こっちはこっちで出しますか。

松本スポーツ振興係長 　　これはこれでいただきたいと思っています。

石原生涯学習課長 　　印鑑は要りません。印と書いてあるんですけど、印は要らないので。

植田委員長 　　今日、お持ちになっていない方はいらっしゃいますか。

じゃ、お持ちになっているのを私が今、集めます。

(書類提出)

松本スポーツ振興係長 　　ある方については、今日もらっちゃったほうがいい。アドレス、おわかりになりますか。

じゃ、すみません。こちらにお書きいただきたいと思います。ちなみに宮崎さんと田澤さんと千本木さんはわかっています。秋澤さんのもたしか。

宮崎委員 　　秋澤さんは前年ので大丈夫です。

千本木委員 　　それで事務局、あと、その他で終わるわけでしょう。せっかく一

覧表があるのだから、来月には1人、埋まるわけでしょう。10人、定数になるわけだからアドレスもさることながら、携帯番号とかの一覧表をお願いしたい。

松本スポーツ振興係長 はい、わかりました。

松本スポーツ振興係長 それでは、今日は会議をこの程度でおさめまして、次回、11月17日木曜日、今度はこの部屋ではなくて、801会議室になりますので、この建物の8階になりますので、そちらのほうに6時30分からとなりますので、その前にお越しいただければと思います。

宮崎委員 すみません、私、ここにいないので、次の11月17日は。全国大会で福井へ行きますので、欠席します。

松本スポーツ振興係長 わかりました。

田澤委員 17日ですね。

安東委員 木曜ですね、ずっと。

植田委員長 では、今日はこれで終わりにしたいと思います。お疲れさまでした。ありがとうございました。

— 了 —